

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化において即時に対応出来る設備や医療処置に伴う対応技術が伴っていない。	即時に対応出来る環境と対応技術についての知識を得て、入居者様にとってふさわしい環境を作りご満足をしていただけるよう努める。	住み慣れた環境で、自己の望む場所で生活が送れるよう、又、人生の最期を迎え、ご本人様にご満足いただける環境設備を整えていく。	
2	6	日頃の対応が拘束になっていないか。	気分穏やかに過ごしていただける環境を作り、充実した生活を送っていただけるようにする。	グループホームの中で何が拘束にあたるのかを常に意識出来るよう、又、知らぬうちに対応が拘束行為にならないよう、常時話し合っていく。	
3	40	各入居者様の食事摂取状況について意識し把握する。	その都度、安心して食べられる食事、食材について考慮しながら対応していく。	常時、咀嚼時の様子について話し合い、どのような食材が摂取しやすく、見た目も美味しそうに感じていただけるかを把握していく。	
4	26	ケアの対応について話しあうも、情報事項が各職員間に伝達できていない。	伝達事項を把握した上で、各入居者様に適したケア対応が出来るようにする。	情報、伝達事項がわかるよう、ボードなどに記載した内容の用紙を貼り、伝達事項漏れのないようにする。	
5	35	運営推進会議にて、避難訓練内容について、見て、話し合うも、地域の方の参加頻度が少ない。	危険、災害なく、安心して暮らせる環境作りをする。	地域の方々に出来るだけ参加していただき、即時に備えて協力体制が出来るようにする。	

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。